学校番号	3003

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新編 文学国語」　（大修館書店）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生涯に渡る社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、第１学年で学習した「言語文化」をさらに発展させ、我が国の言語文化に対する理解を深めることを目標にしています。

文学は人々の心の機微を描くものであり、我々の文化を築く上で重要な役割を果たすものです。豊かな感性や情緒を備え、幅広い知識や教養をもち、思考力・判断力・表現力等を身に付けるためには、文学作品などの文学的文章を通した様々な学習が必要不可欠です。「文学国語」では特に、文化としての言語、多様な言語芸術や芸能などの価値に重点を置き、理解したり尊重したりすることにとどまることなく、自らが継承・発展させていく担い手としての自覚をもつことをめざしています。語彙を豊かにすることや、文語のきまりを理解するために定期的に小テストを行います。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

【知識及び技能】

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	文学の扉を開こう ［教材］ 羅生門（芥川龍之介）	a：常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。また、我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：場面ごとに状況によって変化していく下人の心情を的確に捉えた上で、作品のテーマについて考えている。また、作品の展開を把握しながら、各場面の比喩表現や情景描写の特徴について理解を深め、説明している。 c：言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返り活動
	明日をひらく ［教材］ そとみとなかみ （角田光代）	a：自分の「外側」「内側」について本文をもとに考察を深めている b[読]：随想の特徴を踏まえ、内容の構成や内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。 c：言葉についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日常使っている言葉を見つめ直そうとしている	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返り活動
	小説を楽しむ ［教材］ ナイン（井上ひさし）	a：情景描写のために使用される言葉や比喩表現・慣用句を適切に理解し、使用している。さらに、我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：場面設定についての理解を深め、作品の展開を把握しながら、登場人物の心情の変化をまとめ、説明している。 c：言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。日常にある文学的な芸術について興味をもち、新たな読書に対する意欲をもとうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返り活動
二学期	古典の世界 ［教材］ 星取り（醒酔笑） 児の飴食ひたること （沙石集）	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：作品に興味をもち、物語の内容を積極的に読み取ろうとしている。読みの多様性について関心を深めようとしている。また、登場人物の行動や心情を読み取ろうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返り活動

二学期	名作を読む(一) ［教材］ 山月記(中島敦)	a:漢文訓読調の文章に慣れ、語句の意味を理解することができる。また、名作の読解を通して、文学史的意義を理解し、言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読・書]:登場人物の生き方を「山月記」という変身譚として捉え、自身の生き方と李徴・袁傪を比較ながら理解を深め、生き方を考える契機とする。 c:名作を読むことで近代人の思想・文化や言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返り活動
三学期	古典の世界(二) ［教材］ かぐや姫の昇天 (竹取物語) 月やあらぬ(伊勢物語)	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:物語の成り立ちや世界観を捉え、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c:作品に興味をもち、物語の内容を積極的に読み取ろうとしている。読みの多様性について関心を深めようとしている。また、登場人物の行動や心情を読み取ろうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返り活動
	詩を味わう ［教材］ 道程(高村光太郎) 永訣の朝(宮澤賢治)	a:詩の形式や分類を理解し、我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 b[読]:音韻やリズムを感じ取り、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。また作者の心情を深く考察している。 c:繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返り活動
	思いを言葉に ［教材］ エッセイを書こう 手紙を書こう	a:言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b[書]:文章の TPO に応じて、内容や文脈を読み取りながら、想像力豊かに、自分のものの見方、感じ方、考え方を文章で表現することができる。 c:今後の学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。	ワークシート	ワークシート 発表 ノート	ワークシート 発表 振り返り活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　(　　)時間

・書くこと　…　(　15　)時間

・読むこと　…　(　50　)時間